

第2学年4組 学級活動（1）指導案

1. 日時・場所 令和元年7月3日（水） 5校時（13：30～14：15）

2. 議題 「2年4組パワーアップ集会をしよう」

3. 議題について

（1）児童の実態

学級目標

えがおいっぱい2年4くみ

いつもなかまにやさしい子

いつもきょう力する子

いつもチャレンジする子

新学年がスタートして3ヶ月が過ぎた。4月当初は緊張してなかなか自分を出せずに過ごしている様子も見られたが、徐々に学級に慣れ、自分らしさを出せるようになってきた。元気いっぱい、素直な子どもたちが多い。様々な活動に対して意欲的に取り組もうとする姿もたくさん見られる。一方で、本学級の課題として、自分の思い通りにいかないときに、友達に強い口調で言ったり話し合っ解決できなかつたりすることも多くあり、トラブルに発展する場面もある。

学級目標を決める際、どんなクラスにしたいのかという考えを2年生なりに考え、話し合い、みんなで決めた学級目標となった。「いつもなかまにやさしい子」には、どんなときでも仲間に優しくしたいという思いや、クラスの仲間だけでなく、お兄さん、お姉さんとして1年生にも優しく接したいという思い。「いつもきょう力する子」には、クラスで何かに取り組むときに、みんなで力を合わせていきたいという思い。「いつもチャレンジする子」には、自分の思いをまずはみんなに伝えようと考え行動したり、どんなことにも挑戦したりしていきたいという思いが込められている。いつでもこの3つのことを意識して、笑顔あふれるクラスになりたいという28人の思いがある。集会の後や帰りの会などで、学級目標に近付くことができた場面を教師が称賛して、いつでも子どもたちが学級目標を意識しながら学校生活を送ることができるようにしている。

話し合い活動は、今回で5回目である。1回目は「みんなともだちしゅうかいをしよう」2回目は「ようこそ〇〇先生（実習生）」3回目は「〇〇先生（実習生）ありがとうの会」4回目は「なかよくなろうしゅうかい」を議題とし、話し合ってきた。1回目の学級会では、教師が司会グループの役割をし、話し合いのやり方を確認しながら進めた。2回目の学級会からは、子どもたちが司会グループを務めている。司会グループは名前順の輪番制にして、どの子も経験できるようにしている。それぞれの学級会で司会グループを務める子どもたちは、どのグループも話し合いの準備から意欲的に取り組むことができていた。学級会の話し合いでは、賛成意見が分かれたときに合体意見を考えることができ、みんなが納得して決定することができた。ただ、自分の考えをもちながらもその思いを発言できない子どもたちが多いと感じている。子どもたちが自信をもって発言できるように、教師が学級会ノートに書かれた考えに対しアドバイスや励ましの言葉を書き入れている。また、低学年ということもあり、話し合いのめあてや学級目標を意識して意見を言うことができる子はまだ少ない。自分がやりたいという理由で賛成意見を言う子どもたちもいる。めあてに沿った意見を言えた子どもや、積極的に発言しない子が自分から発言できたときはその場で称賛するとともに、自分がやりたいものではなく、提案理由や話し合いのめあてに合った自分にとってもクラスのみんなにとってもよい意見に対して合意形成ができるように指導している段階である。

(2) 議題選定の理由

今回の議題には、「今まで28人みんなで協力できたときもあれば、できなかったときもあった。いつでも協力できるクラスになると、学級目標に近付くことができ、クラスをパワーアップさせたい」という提案者の思いが込められている。そこで、話し合いのめあてを「28人みんなで協力できるものを決めよう」とし、そのめあてを意識させながら話し合い、合意形成させたい。

子どもたちに3ヶ月過ごしてきた中で協力した場面を聞くと、「運動会のダンスで2年4組の28人でポンポンを使って文字を作ったとき」や「クラス集会に向けてみんなで準備をしたとき」という意見があった。子どもたちにとって協力する姿とは「28人みんなで力を合わせたり、目標に向かって活動したりする姿」であった。28人全員で協力して取り組むことで、クラス目標の達成につながると考え、本題材を選定した。

1年間の話し合い活動を通して、友達に寄り添って、友達を思いやることができる子どもに育てていきたいと考えている。そのためにも、自分とは違う考えでも、友達一人一人の意見や思い、少数の意見も大切にし、みんなで合意形成できるようにしていきたい。また、自分の意見を友達に認められることで、自分に自信をもち、クラスの友達に必要とされていることを実感できる。この経験により、次は自分が友達を認めてあげようとする思いをもつことができるのではないかと考える。自分たちで話し合っただけで決めたことを自分たちで準備し、実践し、成し遂げることができたときの達成感を体験させていきたい。そのような経験を繰り返すことで、自分たちで、クラスをよりよくしていくことができることを学んでほしいと願っている。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲よく助け合っ実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
6月上旬	・議題箱に「クラスみんなが協力できるための集会をしたい」という思いが寄せられる。	○事前に話し合い活動の意味について理解し、どんな学級にしていきたいのか考えて意見を入れるように促しておく。 ☆学級生活に関心を持ち、学級をよりよくしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6/17 (月) 中休み	・議題ポストの議題を確認し、議題を選定する。	○寄せられた議題の中から教師と一緒に議題を選べるようにする。 ☆寄せられた議題案の中から今の学級にふさわしい議題を選んでいる。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6/18 (火) 中休み	・司会グループと提案者で、話し合いのめあてを決める。また、司会グループの役割分担をする。 ・司会1 ・指名司会1 ・黒板記録2 ・ノート記録1	○今回の学級会では何を大切にして話し合いたいかを司会グループと一緒に考える。 ○司会、記録などの役割を確認し、話し合いの流れをイメージできるようにする。 ☆教師とともに、話し合いの進め方、話し合いのめあてを考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6/18 (火) 帰りの会	・学級会で話し合う議題と提案者の思いを伝える。	○みんなに話し合う内容や提案者の思いを伝え、思いを共有できるようにする。 ☆議題に対して、関心をもっている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6/20 (木) 朝の会	・アイデアカードを出す。	○話し合いのめあてに沿ったアイデアを書けるようにする。 ☆議題について自分の考えを持ち、学級会へ向けての見通しをもっている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6/25 (火) 朝の会	・アイデアの内容について質問し合い、自分の考えを「学級会ノート」に記入する。	○アイデアの内容について、共通理解を図るようにする。 ○一人一人が自分の考えをもてるようにする。 ○短冊に書かれたアイデアからより話し合いのめあてに近付けるものを選び、自分の考えとして書く。 ☆話し合い(技能)のめあてと自分の考えをもっている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6/27 (木) 中休み	・司会グループで話し合いの進め方について確認する。	○話し合いの進め方の進行プログラムを渡し、話し合いの流れや気をつけることを記入させる。 ○学級会ノートに書かれた意見を確認し、話し合いの場面を一緒にイメージしていく。 ☆話し合いの活動の準備の仕方や進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)

(2) 本時の活動

①ねらい 学級目標に近付くために、クラスの間が協力できる集会の内容を話し合っで決めることができるようにする。

②活動計画

児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認 「2年4くみパワーアップしゅう会をしよう」</p> <p>4. 提案理由の説明 「今まで28人みんなで協力できたときもあれば、できなかったときもありました。いつでも協力できるクラスになると、学級目標に近付くことができ、クラスをパワーアップさせたいと思い、ていあんしました。」</p> <p>5. めあての確認 「28人みんなできょう力できるものをきめよう」</p> <p>6. 決まっていることの確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日時：7月10日(水) 5校時 やること2つ 場所：アリーナ(体育館)</p> </div> <p>7. 話し合い 「集会で何をするのか決める」</p> <p>① 出し合い (事前に行っておく)</p> <p>② くらべ合い</p> <p>③ まとめる</p> <p>8. 決まったことの確認</p> <p>9. 認め合いタイム</p> <p>10. 振り返り</p> <p>11. 先生の話</p> <p>12. おわりの言葉</p>	<p>○安心して会が進められるように、進行プログラムを司会に渡しておく。</p> <p>○場所や日時など決まっていることは黒板に掲示しておく。</p> <p>○話し合いのめあてを意識しながら話し合ったり決定したりできるようにする。</p> <p>○司会が話し合いの進め方などでつまずいた時には、話し合いの進め方のカードを見るように助言する。</p> <p>○話し合っている内容が逸れてきたら、めあてを意識して話し合っで決定できるように助言する。</p> <p>☆友だちの思いを認めながら、よりよい解決方法を考へて話し合いに参加している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>☆司会グループとして、自分の役割を果たしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○今日の話合いのよかったところを考へられるようにする。</p> <p>○話し合いのめあてや学級目標を意識した意見、みんなが納得できるような意見や態度、司会グループの頑張りなどを称賛する。</p>

③ 本時の視点

・学級目標に近付くために、クラスの間で協力できるものについて考へながら話し合いをすることができていたか。

④板書計画

<p>だいたい五かい がつきゅうかい</p> <p>はじめのことは</p> <p>ぎだい</p> <p>二年四くみパワーアップしゅう会をしよう</p> <p>話し合おうりゆう</p> <p>今まで二十八人みんなできよう力できたときもあれば、できなかったときもありました。いつでもきよう力できるクラスになると、学きゆう目ひように近づくことができ、クラスをパワーアップさせたいと思います、ていあんしました。</p> <p>話し合いのめあて</p> <p>二十八人みんなできようりよくできるものをきめよう。</p> <p>柱1 何をするのかきめる</p> <p>○メディシンボール</p> <p>○二十八人リレー</p> <p>○まとあて</p> <p>○フラフープおくり</p> <p>○8の字とび</p> <p>○玉入れ</p> <p>きまつたことのかくにん</p> <p>みとめあいタイム</p> <p>ふりかえりタイム</p> <p>先生の話</p> <p>おわりのことば</p>	<p>きようりよくする</p> <p>二十八人みんなで力を合わせる</p> <p>二十八人みんなでもくひようにむかう</p> <p>きまつていること</p> <p>七月十日(水)</p> <p>五時間目</p> <p>やること二つ</p> <p>アリーナ</p>
---	---

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)
7/4 (木) 朝の会	・役割分担をする。	○これまでの経験を生かして、必要な役割を考えて全員で分担できるようにする。
7/5～ (木) 中休み	・役割ごとに集会に向けて準備をする。	○協力して準備が進められるように声をかける。 ☆集会に向けて進んで取り組み、協力して準備を進めている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
7/10 (水) 5校時	・「2年4組パワーアップ集会」を行う。	○めあてを提示し、意識できるようにする。 ○振り返りでは、互いのよさを認め合えるような場にし、集会を自分たちでつくることのできたことを実感できるようにする。 ☆何のための集会なのかを理解し、友達と協力して活動している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
7/11 (木) 朝の会	・活動の振り返りをする。	○次にどんなことをしたいのか、また今回の反省をどのように次に生かしていきたいかを、中心に考えられるように助言する。 ☆活動に対する自分の取り組み方や、学級全体としての取り組みの様子を振り返り、みんなで集会をつくる意義を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)

